

令和8年度都立八王子東高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	難関国公立大学合格に見合う学力を養成する。	1, 2年での上位者下位者それぞれに向けた講習の実施。3年次での志望大学に合わせた個別指導や講習の実施。	三年間を通じ探究的な学びの機会を多く設けることで、知識偏重ではなく、様々な視点から思考を重ねる機会を授業に設定する。
地歴公民	①問題演習量の確保。 ②マーク式の出題形式に不慣れな生徒への対応。 ③理系生徒の学習態度・学力の維持。	①・②については、春期、夏期、秋期、冬期講習を通して問題演習量を増やすことで解決を図りたい。特に、参加する生徒数を確保することが求められるため、進路指導部や3学年の協力を得ながら実行に移していきたい。また、講習以外の通常授業時の場面でも演習に取り組む時間を確保する。③については個々の生徒に対応する必要があるため、3学年の担任と綿密に情報を共有しながら、きめ細やかな対応に努める。	各講習では、共通テスト対策から難関国公立大学の論述対策まで幅広く実施し、生徒のニーズに沿った学習機会を提供する。1・2年生に対しては、フィールドワークの機会を複数設けることで、授業では体験できない学びを提供する。
数学	難関国公立大学合格に向けて、基礎基本の徹底と、高い思考力、計算力を養成する。	1, 2年次は公式の証明など教科書での基礎基本の徹底と問題集での定着を重視し、3年次で発展問題での演習を行っている。	週ごとの課題などを用いて、予習復習を基本とした生徒の学習習慣がより一層強固になるような取り組みを充実させる。
理科	基礎学力の徹底と探究的な学びを通じ、難関国公立大学合格に見合う学力の養成をする。	1, 2年次の基礎科目を通して、科学的な見方や考え方を養う。2, 3年次の発展科目における実験・観察を通して、データ分析力や考察力を養う。演習科目を通して、知識・概念の定着などを図る。	探究的な学びを教科としても一層進められるよう、探究科目(探究基礎・課題探究)との関連も意識する。
保健体育	心身の健全な発達を促し、体力の向上を図る。	基礎技術や体力を身につけさせるための継続した取り組みをしている。自主的、主体的に取り組むためのグループ学習や仲間と考察しあい知識と技能を運動させながら図っていく。	競争や協働の場を作り、その経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす等の意欲を育てる。
芸術	他者と協働しながら芸術の諸活動における自己理解能力の向上を図る。	演奏、制作、鑑賞の創造的活動を通して根拠に基づいた批評能力を培う。	歴史的・社会的背景を含む作品の深い理解を目指し、探究的問いを立てながら創造性の向上を目指す。
英語	難関国公立大・難関私大を希望進路とする生徒の志望を実現可能にする英語力の養成。	難関国公立大・難関私大の読解問題に対応する実力を養成するために、その下地として1, 2年次からの語彙・文法・文構造、文章構成に関する知識の習得を音読練習や聴解訓練と運動させながら図っていく。	1年次の英語探究において4技能を運動させた活動や口頭発表、グループワークなどを通じて英語の運用能力を高めていく。2, 3年生においては自由英作文の指導などを中心に英語による自己表現活動なども行っていく。
家庭	衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けさせる。	各授業において、主体的に考えられる設問を設定するなどした。各領域で実習を取り入れ、実体験として理解を深めさせる。	生活を自ら営む技術を身に付けるため、各技能で各自、応用・発展できる幅をもたせる。
情報	令和9年度共通テストに向け、問題を解く力の向上。	授業内の練習問題取り組み時間を増やした。	例題や練習問題から、その単元の新出単語を理解し、既習内容を踏まえて説明ができるようにした。
探究	(1)新学習指導要領の理念に即した教科間連携による探究活動の充実 (2)実際に足を運ぶ・本物に触れる・会う・手を動かす活動の促進 (3)問いの深まり方向への鋭角化の促進 (4)進路指導との連携体制の確立 (5)探究的・協働的学習環境の整備	・データサイエンス講座をはじめとした教科横断的授業やフィールドワーク等の充実 ・「質問シャワー」の運用場面の明確化 ・各種事業を活用したフィードバック・体験講座の充実	・高大連携事業への生徒の積極的派遣 ・外部連携型講座の必修と校外発表会参加の指導 ・推薦型・総合型選抜を見据えたコンテスト等の紹介